

慈鎮和尚傳

大日本國天台宗延暦寺第五十八座主大
僧正慈鎮和尚傳 大和尚延暦寺御一著慈鎮
和尚一祖大織冠内大臣藤原朝臣種是
十八代之後胤胤白布太政大臣從一位連通
公息子也師
身羽太皇太后第七皇子元使治親王之入宮
也古久壽二年乙亥四月十二日誕生男女
氏胎内降神膳部卿仁安二年十月二日
以十一歲給出家剃除同月十二日也頃受
戒師當時庄也十六歲時以嘉應元年
八月十日以元使就之為父為一身阿闍梨同十
二月廿日依同就之山祈禱賞叙治暇廿四歲
時治承二年閏六月元日依同王讓与補法
寺住持廿七歲時養和元年十一月六日叙
法常同年十二月十一日補楞嚴三昧院并常
壽院轉校寺承元元年七月廿九日補無動
轉校同年十二月六日治承二年歲次之改養
德二年僧正受与部治承三年八月廿九日
受道場大日如來女一代之面脈業師資

2025 年度秋季企画展 / 大谷大学博物館の逸品 / 重要文化財

慈鎮和尚傳

Otani University Museum

大谷大学博物館

Free admission
観覧料 無料



2025年9月6日(土)ー9月27日(土)

同時開催 大谷大学博物館学課程2025年度 実習生展

「開館時間」10時から17時(入館は16時30分まで)

「休館日」日・月(ただし9月7日(日)、21日(日)、22日(月)は開館)

「主催」大谷大学 「後援」エフエム京都

上:重要文化財 慈鎮和尚伝(巻頭) 下:日吉山王宝塔曼荼羅(部分)

慈鎮和尚伝

重要文化財
慈鎮和尚伝
正応2(1289)年
大谷大学博物館



天台座主記 天保3(1832)年 大谷大学図書館
歴代の天台座主の補任などを記した伝記。
座主の世代や出自、法系、補任、治山期間の修法や
行状などが記されている。



山王七社影響巻 寛永19(1642)年 大谷大学図書館
平安時代中期～後期に活躍した学僧澄豪(1049～1133)の著作。
天台宗の教義に関わる問題を、24箇条に分け問答形式で説いたもの。

日吉山王宝塔曼荼羅 室町時代(16世紀) 大谷大学博物館
比叡山の仏と神を一体的に描いた日吉山王曼荼羅。
山王曼荼羅はさまざまな図様のものが残されているが、
本品は唐崎の松を描いたり、宝塔を真中に描く点に特徴がある。



2025年9月6日(土)ー9月27日(土)
秋季企画展では、例年「大谷大学博物館の逸品」と題して、
館蔵品のうち重要文化財を中心とする優品をご紹介します。
本年度は鎌倉時代の僧侶で、天台座主として活躍した
慈円(1155～1225)の伝記『慈鎮和尚伝』です。
他の伝記に見られない慈円の修道生活の内容や周辺の様子が
具体的に記されることから重要文化財に指定されたものです。
本展では、『慈鎮和尚伝』と天台関係史料を紹介いたします。

同時開催 | 大谷大学博物館学課程 2025年度 実習生展

B 班

黄道吉日ー陰陽師の虚と実ー

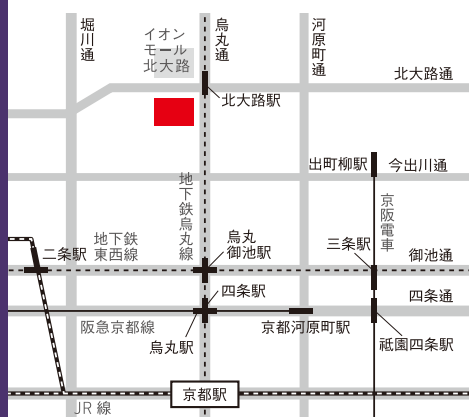
A 班

京さんぽ～巡礼の今と昔～



同時開催の実習生展は、学芸員の資格取得をめざす
博物館学課程受講生が、学びの集大成として、
企画から展示・解説まですべてをおこなう展覧会です。
A 班は京を舞台として寺社巡礼に着目した展示を。
B 班は安倍晴明など有名な陰陽師の、イメージされる姿と
実際の姿の両面に着目した展示を、それぞれに企画しました。

今回の展覧会 2025年度特別展「物語をつたえる絵とことば」
2025年10月11日(土)～11月29日(土)



- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。
ただし身障者の車の場合は事前にご連絡ください。

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F
Tel. 075-411-8483 Fax. 075-411-8146
https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

大谷大学博物館

京都・大学ミュージアム連携